

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	私たちと文化				
担当者氏名	吉田 健				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 教養教育-2 豊かな人間性の醸成 ○ 教養教育-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

私たちと文化では、まず「文化」とは何かについて学んでいく。その過程で自らの生活の様々な場面に文化の影響があることに気づきさらに文化について理解を深めていく。  
 また自らの生活を改めてみていくと、様々な文化とかがわっていることに気づく。その気づきを通して、異なる様々な文化について考え、理解していく。

《テキスト》

指定しない。

《参考図書》

講義中に指示する。

《授業の到達目標》

自分の文化やそれ以外の様々な文化について、それぞれの文化を尊重し、正しく理解しようという姿勢を身に付けられるようにする。

《授業時間外学習》

予習として、指示した資料（動画なども含む）を授業前に目を通す必要がある。また、授業の内容をまとめる課題を復習として指示する場合がある。  
 また、授業外の時間にグループで打ち合わせや提示資料の作成を求めることもある。

《成績評価の方法》

授業態度・講義中の課題の成果・レポートの成果を元に評価を行う。  
 レポート40%、講義中の課題30%、授業に取り組む姿勢など平常点30%。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	この授業の概要について説明する。
2	文化とは何か	文化とはどのようなものかについて概観する。
3	自分と文化	自分の日々の暮らしと文化のかかわりについて考える。
4	家族と文化	家族という単位で文化を考える。
5	世代と文化	自分の世代やほかの世代の文化の違いを考える。
6	サブカルチャー	サブカルチャーとは何か、サブカルチャーについて理解を深める。
7	地域と文化	地域による文化の違いを考える。
8	日本の文化	日本の文化について考える。
9	世界の文化（1）	世界の様々な文化についてグループで調べる。
10	世界の文化（2）	グループで調べた様々な文化について、まとめる。
11	世界の文化（3）	グループでまとめた内容を発表する。
12	文化とコミュニケーション（1）	文化とコミュニケーションの問題についてグループで調べる。
13	文化とコミュニケーション（2）	グループで調べた様々な問題について、まとめる。
14	文化とコミュニケーション（3）	グループでまとめた内容を発表する。
15	まとめ	学習のまとめを行う。